

作成日 2026 年 1 月 6 日  
(最終更新日 年 月 日)

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2025-1-856

### 課題名 : 全国がん登録を利用した皮膚悪性腫瘍の疫学研究

#### 1. 研究の対象

日本全国の病院で 2016 年から 2023 年までに皮膚悪性腫瘍(悪性黒色腫、有棘細胞癌[皮膚扁平上皮癌]、乳房外パジェット病、皮膚血管肉腫)と診断された方。

#### 2. 研究期間

2026年1月(研究実施許可日)～2030年12月

#### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当機関で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2026 年 2 月 15 日

提供開始予定日 : 該当なし

#### 4. 研究目的

皮膚悪性腫瘍と診断される方は、1 年間で 2.5 万人と報告されており、他の悪性腫瘍と比べると、比較的稀です。稀であるが故、診断治療に地域や施設毎の違いが日本国内であつてもあると予想しており、大規模な疫学研究が必要と考えております。

この研究では、全国のがん患者さんの情報をまとめた「全国がん登録」のデータを用いて、病院ごとの手術件数や医療体制や地域性と、皮膚悪性腫瘍における生存率との関係を調べます。

どのくらいの症例数をもつ施設がよい治療成績を示しているのか、患者さんの背景が治療にどのように影響するのかを明らかにすることで、日本全体での医療体制の整備や治療の質の向上に役立てることを目的としています。

#### 5. 研究方法

この研究では、国立がん研究センターが集めている全国がん登録データを利用します。個人が特定できる情報(氏名・住所・生年月日など)はすべて削除された匿名化データが提供されます。

研究者は、施設名などの情報を基に病院毎の症例数、治療内容の実際を付け加え、統計的に解析を行います。

## 6. 研究に用いる試料・情報の種類

全国がん登録データのうち、以下の内容を使用します。

- ・患者属性（性別、年齢 等）
- ・皮膚悪性腫瘍に関する情報（発生部位、種類、診断時の進行度、治療内容など）

さらに、手術件数や施設情報といった外部情報を用いて解析を行います。

## 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

## 8. 研究組織

本学単独研究

既存試料・情報等の提供のみを行う機関：

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター  
センター長、松田 智大

## 9. 利益相反（企業等との利害関係）について

本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は、運営費交付金（東北大学大学院医学系研究科 神経・感覚器病態学講座 皮膚科学分野）を使用します。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、東北大学利益相反マネジメント委員会の承認を得たうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係についての公正性を保ちます。

## 10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

研究責任者：武藤 雄介 職名 助教  
東北大学医学系研究科 皮膚科

〒980-0822

住所 仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL 022-717-7271 FAX 022-717-7361